

(采村・北茨城市・仙台市) 震災被災地 への支援状況

平成23年3月11日(金)に発生した、三陸沖を震源とする東北地方太平洋沖地震は、東北地方を中心に未曾有の大災害となりました。また、翌12日未明に発生した、長野県北部を震源とする地震では、近隣の采村で震度6強を観測し、道路が寸断され、けが人が出るなど、多くの住民が避難されました。さらに、福島第1原発による災害も懸念されています。

被災された皆さまには、心からお見舞い申し上げます。この一連の災害に対し、市では、地震発生後、市内の被害状況を確認し、大きな被害がなかったことから、その後直ちに「被災地支援対策会議」を開いて市内の連絡体制を確立し、近隣、姉妹都市などの被災地に対して、さまざまな支援を行ってまいりました。

今後も近隣や姉妹都市などの被災地と連絡をとりながら、必要な支援をしてまいります。



采村の被災家屋
【3月15日撮影】



▲▼北茨城市内（大津港付近）の様子【3月14日撮影】



▲北茨城市役所にて、救援物資を提供【3月13日撮影】



▲采村にて、きのこ汁を提供
【3月14日撮影】



▲▼ぼんぼこの湯にて、采村の皆さんに
入浴・昼食を提供【3月25日撮影】



▲▼仙台市の消防学校にて、救援物資を提供
【3月19日撮影】



仙台市内の様子【3月20日撮影】



▲采村にて、被災住宅の一般廃棄物を運搬
【3月29日撮影】

